第 198 回 長崎大学ＦＤ実施報告書（令和 2 年 2 月 26 日提出）

１．題　目：初習外国語教育のアクティブ・ラーニングをともなった改善

２．日　時：　令和 2 年 2 月 8 日（土）13：00～15：30

３．場　所：　教養教育講義棟 A-12

４．主　催：初習外国語小委員会、言語教育研究センター

５．対　象：全教員（教養教育外国語科目（初習外国語）非常勤講師を含む）

６．長崎大学ＦＤに関する申合せ第２項への該当について【複数選択可】
（該当するものに○を記入すること）
［　○　］(1)　教員の教育活動に関するもの
［　　］(2)　カリキュラムの改善に関するもの
［　○　］(3)　教育の組織的改善に関するもの
［　　］(4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
［　○　］(5)　その他教育改善及び入学者選抜の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）
2020 年度からの初習外国語統一試験の廃止、また 2021 年度からのカリキュラム改定によって初習外国語が 1 年生だけ（多文化社会学部を除く）の必修になることが決定した。そのような変化にともなって、フランスの外国人向けのフランス語語学教育を参考に、新たな教育方法を提示するために、初習外国語担当の非常勤教員も参加する FD を実施する。
前半は、現在フランス語および法律の非常勤をしていただいている西津先生に、フランスで学んだ語学教育法を、実践を交えながら学ぶ機会とする。
後半では、各言語の担当教員に分かれ、今後の初習外国語教育の改変について報告し、各言語に適した授業内容の改善と授業数減に対応した学生の自宅で学習を促す措置及び留学希望の学生達への語学指導などについて話し合う。

８．プログラム構成［題目・担当講師］（当日使用した資料等を添付すること）
13：00 ～ 13：15 「今後の初習外国語の基本方針について」
西原　俊明（言語教育研究センター長）

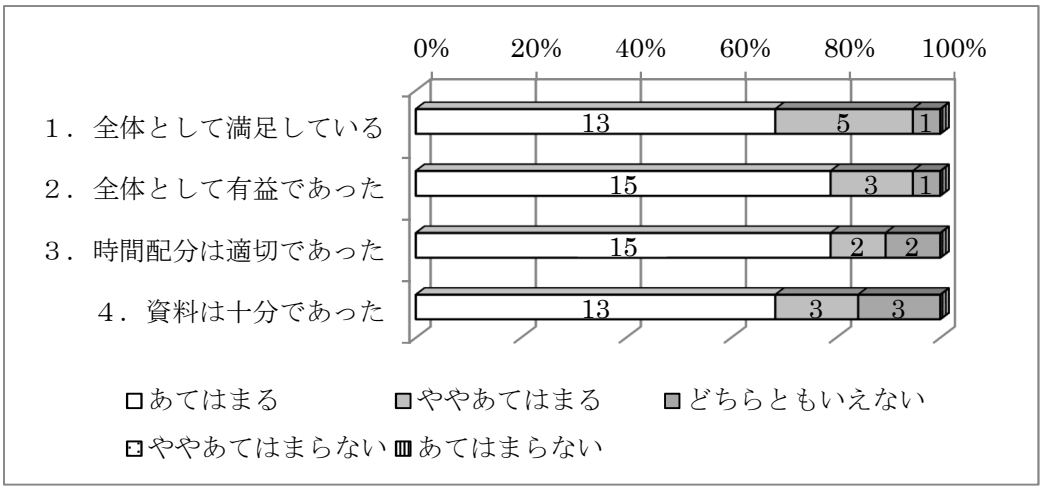
13：15 ～ 14：15 「初習外国語における FLE（外国語としてのフランス語）
（質疑応答含） の手法の応用」
西津　佐和子
14：15 ～ 14：30 休憩
14：30 ～ 15：30 言語別分科会

９．参加者：23 名
（内訳）

所　　属	人　　数
言語教育研究センター	4
多文化社会学部	1
非常勤講師	17
その他	1
計	23

※　別紙に参加者名簿を添付してください。

１０．実施したＦＤの成果等
（１） 参加者からの評価（アンケートの集計結果を記述する）
（回答者：19 名）



今回のＦＤの運営に関しての感想や意見
・ 参考になりました。可能な範囲で自分の授業にも応用しようと思います。
・ いろいろなアイディアをいただけて、よかったと思います。
・ 他の先生方の授業を拝見するのはとても参考になります。ありがとうございました。
・ 大変楽しかったです。ありがとうございました。

（２） 総　括（１０（１）を踏まえＦＤ全体の総括を記述する）

2020 年度からの初習外国語統一試験の廃止、また 2021 年度からのカリキュラム改定によって初習外国語が１年生だけ（多文化社会学部を除く）の必修になることが決定した。そのような変化に対応するため、講師の先生にはフランスでの外国人向けのフランス語語学教育を参考に、新たな教育方法を提示していただいた。

前半は、フランスおよびフランス語の映像やゲームを使用し、グループワークによるアクティブ・ラーニングを参加者全員で実践した。その中で、重要なことは、学生たちが受け身ではなく、自分たちで答えを導き出し、また積極的にコミュニケーションを取る行動を起こすことを、教員が手助けするという教育法の重要性を確認した。

後半では、各言語の担当教員に分かれ、当日の FD についての考えを述べ合った。また、現在の語学教育についての問題点を討議し、授業内容の改善と授業数減に対応した学生の自宅で学習を促す措置及び留学希望の学生達への語学指導などについて話し合った。

来年度は、いよいよ開始される１年生だけの初習外国語教育を具体的にどのように実施するか、短期語学研修をどうするかについての FD を開催したいと考えている。

１１．実施代表者の連絡先

部　局：言語教育研究センター
職　名：言語教育研修センター長　　氏　名：西原俊明
e-mail：t-nishi@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：2095

１２．申請者の連絡先

部　局：言語教育研究センター
職　名：教授　　氏　名：大橋絵理
e-mail：eohashi@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：2086